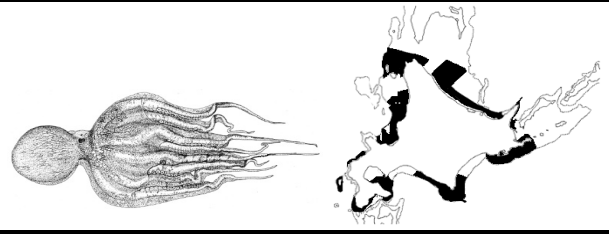


35.ミズダコ

主な漁業と漁期
たこ箱、空釣り縄、
いさり樽流し、たこかご、
たこ磯漁など：周年



北海道周辺海域

生態

◆分布・回遊

水深200m以浅の大陸棚上に生息し、岩礁域に多く分布します。季節的な深淺移動をします。北海道周辺のミズダコ資源は、漁獲傾向の類似性から11の海域に分けられ、これに基づいて資源状況が評価されています。

◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期は宗谷海峡では6～7月です。交接の盛期は産卵の前年の10～12月です。
- ◎天然の産卵場は、知床半島沿岸で水深7～43mとの記録があり、その他に水深35～73mの漁具などに産卵した記録があります。

◆成長・成熟

(12月時点)

| | 体重 | |
|----|--------|-------|
| | 未成熟 | 成熟 |
| 1歳 | 40g | |
| 2歳 | 1kg | |
| 3歳 | 1～10kg | 7kg以上 |
| 4歳 | 4～12kg | 7kg以上 |

*) 体重：1歳は大久保(1980)、2歳は三橋(2003)、3歳以上は2003～2004年の漁獲物と1960～1997年の調査標本の測定結果
*) 加齢の基準日：1月1日

◎成熟年齢・体重

- ・概ね雌雄ともに最小成熟体重は10kg、2-4歳で成熟します。
- ・繁殖活動は一生に一度です。

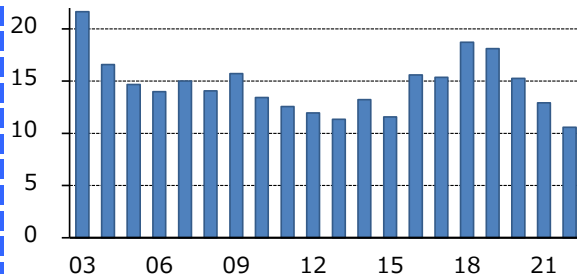
資源評価

[評価年] 1月～12月

[資源水準の指標] CPUE、漁獲量

2022年度の漁獲量は10,567トンで、前年から減少しました。2022年度の資源水準は11海域中1海域で高水準、4海域で中水準、6海域で低水準と判断されており、北海道全域としての資源水準は中水準で、翌年にかけての資源動向は不明と判断されました。道南太平洋海域及び道東太平洋海域で、2022年度に急激に漁獲量が減少したため、原因等を把握する必要があります。

漁獲量 (千トン)



2022年度
の水準



中水準

2023年度
の動向

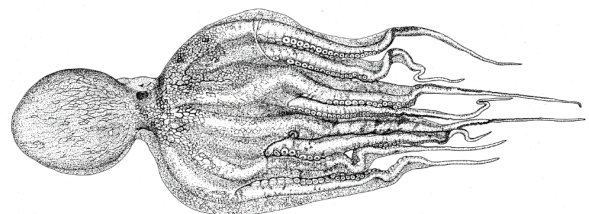


不明 (概要報告)

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

多くの地域で漁業権行使規則や協議会等の取り決め等により、1.5～3 kgの重量制限を行っています。



☆効果的な資源管理のために知見の蓄積を図るとともに、現状の取り組みを継続する必要があります。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
北海道立総合研究機構 稚内水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0162-32-7166